

ワークショップ（3回目）の進め方について

1 目的

これまで2回のワークショップを通して本市の「魅力と課題」について整理した。本日も引き続き、前回整理した内容をもとにワークショップを行い、これから目指すべきまちの姿についてとりまとめていく。

2 内容

(1) グループの内容

ア「ひと」とは

地域づくりや教育、スポーツ、産業など、さまざまな分野に携わる「ひと・人材」に焦点を当て、意見交換を行う。

イ「もの」とは

農林水産業や工業、商業における商品・製品等の生産・販売のほか、医療・福祉サービスの提供など、「産業・経済」に焦点を当て、意見交換を行う。

ウ「まち」とは

観光や交通体系、道路網、施設などの「公共インフラ」や、豊かな山・川・海などの「資源」も含めた都市基盤に焦点を当て、意見交換を行う。

(2) ワークショップの整理

ア 【前々回会議】 R2. 10. 6 実施

「ひと」「もの」「まち」のテーマ毎に「魅力と課題」について、「魅力を活かしてできること」、「課題を克服するために成すべきこと」について意見交換を行い、班ごとに発表。

イ 【前回会議】 R2. 11. 12 実施

前回整理した本市の「魅力と課題」を元に、これから目指すべきまちの姿について意見交換、アイデア等を取りまとめ、班ごとに発表。

ウ 【今回会議】

これまでのワークショップを踏まえ、各班で目指すべきまちの姿について、とりまとめていく。

※ワークショップで整理された内容については、分野別に施策を整理する中で取り込むなど、次期総合計画にも反映していく。

3 ワークショップのテーマ

光市が目指すまちの姿とは（まとめ）
～未来の我がまちをデザインしよう～

4 ワークショップの手法

前回同様、K J法において実施

【K J法とは】参加者各自の意見をカードに記入し、分類しながら模造紙に貼っていく。同様の意見や重要な意見はそれぞれに整理しながら、意見の集約化・体系付けを行っていく手法。

5 会場の配置

新型コロナウイルス対策も含め、6つのグループ（6～7名）を、ある程度間隔をとった配置とする。※資料2参照